

# 平成15年度京都大学防災研究所特定研究集会 (15S-3) 「対流圏長周期変動と異常気象」講演プログラム

開催日時 2003年10月30日(木) 13:00~18:20  
2003年10月31日(金) 9:40~17:20

開催場所 京都大学宇治キャンパス内 木質科学研究所木質ホール

2003年10月30日

セッション1

司会: 向川均(京大・防災研)

- 13:00 主旨説明  
向川均(京大・防災研)
- 13:10 オホーツク海高気圧の形成過程とその季節依存性  
中村尚(東大・理)
- 13:30 オホーツク海高気圧の年々変動 –極域が重要か? 熱帯が重要か?–  
立花義裕(東海大・総合教育)
- 13:50 盛夏期におけるオホーツク海高気圧の出現に関連する内部力学過程  
佐藤尚毅・高橋正明(東大・気候システム)
- 14:10 帯状平均場の季節予測  
前田修平・伊藤明・松下泰広(気象庁・気候情報)
- 14:30 東日本以西の夏の高温トレンドについて  
高野清治(気象庁・気候情報)
- 14:50 両半球中緯度対流圏の高温現象について  
小林ちあき(気象庁・気候情報)

セッション2

司会: 田中博(筑波大・地球科学)

- 15:30 大気海洋相互作用とアジア・オーストラリアモンスーンの経年変動  
川村隆一(富山大・理)
- 15:50 熱帯対流圏の温度偏差に対する考察  
久保田拓志・向川均・岩嶋樹也(京大・防災研)
- 16:10 夏季亜熱帯高気圧の形成と変動に関する力学  
宮坂貴文(東大・理)
- 16:30 PJパターンの発生メカニズムに関する研究  
小坂洋介(東大・理)
- 17:00~18:20 2003年夏の異常気象に関する討論会 司会: 木本昌秀(東大・気候システム)
  - 17:00 田中昌太郎・前田修平(気象庁・気候情報): 今年の夏の天候について
  - 17:30 榎本剛(地球フロンティア): シルクロードパターンの観点からのコメント
  - 17:40 川村隆一(富山大・理): 今年の夏の特異性についてのコメント

2003年10月31日

セッション3

司会: 中村 尚 (東大・理)

- 09:40 北極振動の力学に関する一考察  
渡部 雅浩 (北大・地球環境)
- 10:00 見かけの北極振動と真の振動  
伊藤 久徳 (九大・理)
- 10:20 北半球環状モードの季節変化 - 冬から夏の予測 -  
山崎 孝治 (北大・地球環境)・小木 雅世 (北大・地球環境)・  
立花 義裕 (東海大・総合教育)
- 10:40 順圧大気大循環モデルを用いた対流圏長周期変動の力学的考察  
田中 博 (筑波大・地球科学)
- 11:00 冬季北半球循環場に卓越するさまざまな変動  
本田 明治 (地球フロンティア)
- 11:20 順圧モデルを用いた冬季北半球大気循環場のモード解析  
山根 省三 (地球フロンティア)

セッション4

司会: 廣岡 俊彦 (九大・理)

- 13:20 対流圏-成層圏力学結合の予測可能性  
向川 均 (京大・防災研)・廣岡 俊彦 (九大・理)
- 13:40 ロスビー波束の鉛直伝播による対流圏・下部成層圏間の局所的力学的結合  
西井 和晃 (東大・理)
- 14:00 極夜ジェット振動形成メカニズムについて  
黒田 友二 (気象研)
- 14:20 成層圏力学過程を通じた太陽活動の対流圏への影響  
小寺 邦彦 (気象研)
- 14:40 波動平均流相互作用に基づく大気エネルギー収支解析  
宇野 幸代・岩崎 俊樹 (東北大・理)
- 15:00 歴史的海面水温ならびに海上気象要素の解析  
石井 正好 (気象研)

セッション5

司会: 黒田 友二 (気象研)

- 15:40 北西太平洋域におけるブロッキングの経年変動とその要因  
荒井 美紀・木本 昌秀 (東大・気候システム)
- 16:00 シベリア高気圧の季節内変動: 増幅過程の力学  
高谷 康太郎 (地球フロンティア)
- 16:20 ロスビー波束の伝播に伴う小低気圧の急速な発達  
-2002年11月に発生した事例の再現実験-  
榎本 剛 (地球フロンティア)
- 16:40 極東モンスーンの変動と北太平洋上空のジェットの強弱が移動性擾乱の活動に及ぼす影響  
三瓶 岳昭 (東大・理)
- 17:00 むすびにかえて  
木本 昌秀 (東大・気候システム)
- 17:20 終了